2026年 8月 12日

株式会社サトー

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

証券コード：6287 東証プライム市場

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

FY26 Q1実績

中期経営計画 進捗
– 成長投資の再開 –

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

決算のポイント

■ Q1（4～6月）実績

- **連結で前年同期比増収（+18%）・営業増益（+45%）　括弧内の%は対前年同期比**
  - ✓ 海外ベース事業：増収（+17%）・減益（-11%）
  - ✓ 海外プライマリー専業：増収（+13%）・減益（-15%）
  - ✓ 日本事業：増収（+20%）・増益（2.1倍）
- **計画比の売上・営業利益は、海外事業はおおむね計画線、日本事業は大きく伸長**
  - ✓ 海外はベース事業は下振れ、プライマリー専業は上振れ
  - ✓ 日本は新型プリンターがけん引したことによるメカトロ販売増加と、中東情勢悪化や価格改定を見越した前倒し需要に伴うサプライ販売増加で上振れ

■ 通期 業績予想

- **連結：通期の売上・営業利益を上方修正**
  - ✓ 海外事業：据え置き
  - ✓ 日本事業：好調なQ1業績と新規連結会社の取り込みにより上方修正

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

事業セグメント別売上高及び営業利益

（単位：百万円）

			FY25	FY26	前年比	現地通貨ベース
連結		**売上高**	**37,829**	**44,621**	**+18.0%**	**+11.0%**
		営業利益	**2,359**	**3,429**	**+45.3%**	**+44.5%**
海外	**ベース事業**	売上高	12,628	14,832	+17.5%	+5.0%
		営業利益	1,118	996	-10.9%	-22.1%
	プライマリー専業	売上高	6,109	6,929	+13.4%	-3.7%
		営業利益	561	478	-14.9%	-24.0%
	消去	営業利益	-50	51	-	-
	計	売上高	18,737	21,762	+16.1%	+2.1%
		営業利益	1,629	1,526	-6.3%	-17.2%
日本		売上高	19,091	22,858	+19.7%	+19.7%
		営業利益	864	1,850	2.1倍	2.3倍
消去		営業利益	-134	52	-	-

※ ロシア子会社を除外した売上・営業利益はP. 35に掲載

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

業績

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減	前年比
売 上 高	37,829	44,621	+6,791	+18.0%
営業利益	2,359	3,429	+1,069	+45.3%
営業利益率	6.2%	7.7%	+1.4pt	-
経常利益	1,885	3,245	+1,359	+72.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,211	2,538	+1,327	2.1倍
実効税率	30.6%	20.8%	-9.8pt	-
EBITDA※	3,768	5,041	+1,272	+33.8%

為替感応度：すべての通貨が1円/USDの円安に連動した場合、売上高+556百万円、営業利益+24百万円（FY26通期ベース）

為替レート（期中平均）

USD	144.59	159.56
EUR	163.80	185.41

※ EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

減価償却費	1,405	1,608
のれん償却	3	3

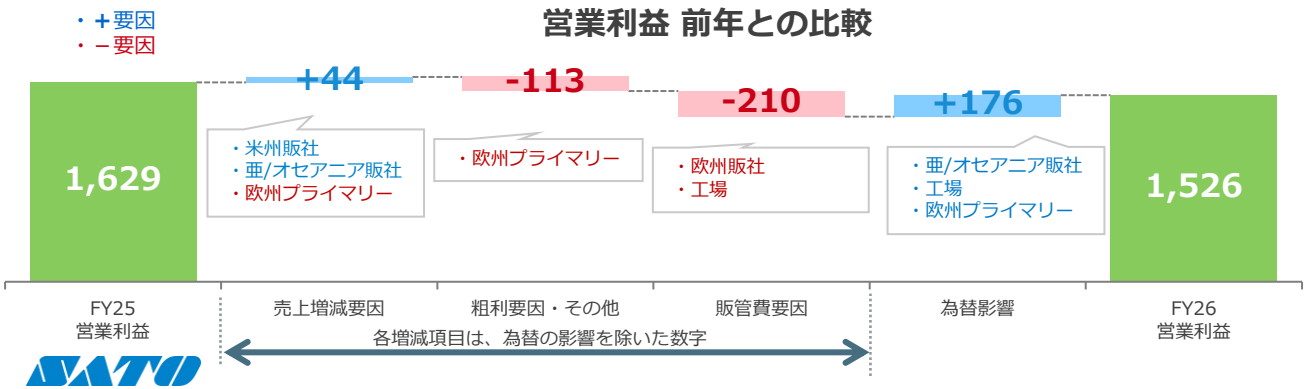
※ ロシア子会社を除外した売上・営業利益はP. 36に掲載

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

総括

	FY25	FY26	増減		
				前年比	現地通貨ベース
ベース事業 売上高	12,628	14,832	+2,204	+17.5%	+5.0%
プライマリー専業 売上高	6,109	6,929	+820	+13.4%	-3.7%
売上高 計	**18,737**	**21,762**	**+3,024**	**+16.1%**	**+2.1%**
粗利額	7,083	7,914	+831	+11.7%	-
粗利率	37.8%	36.4%	-1.4pt	-	
ベース事業 営業利益	1,118	996	-121	-10.9%	-22.1%
プライマリー専業 営業利益	561	478	-83	-14.9%	-24.0%
消去 営業利益	-50	51	+102	-	-
営業利益 計	**1,629**	**1,526**	**-103**	**-6.3%**	**-17.2%**
営業利益率	8.7%	7.0%	-1.7pt	-	

※ アルゼンチンにおけるIAS第29号超インフレ会計適用の影響を含む



売上

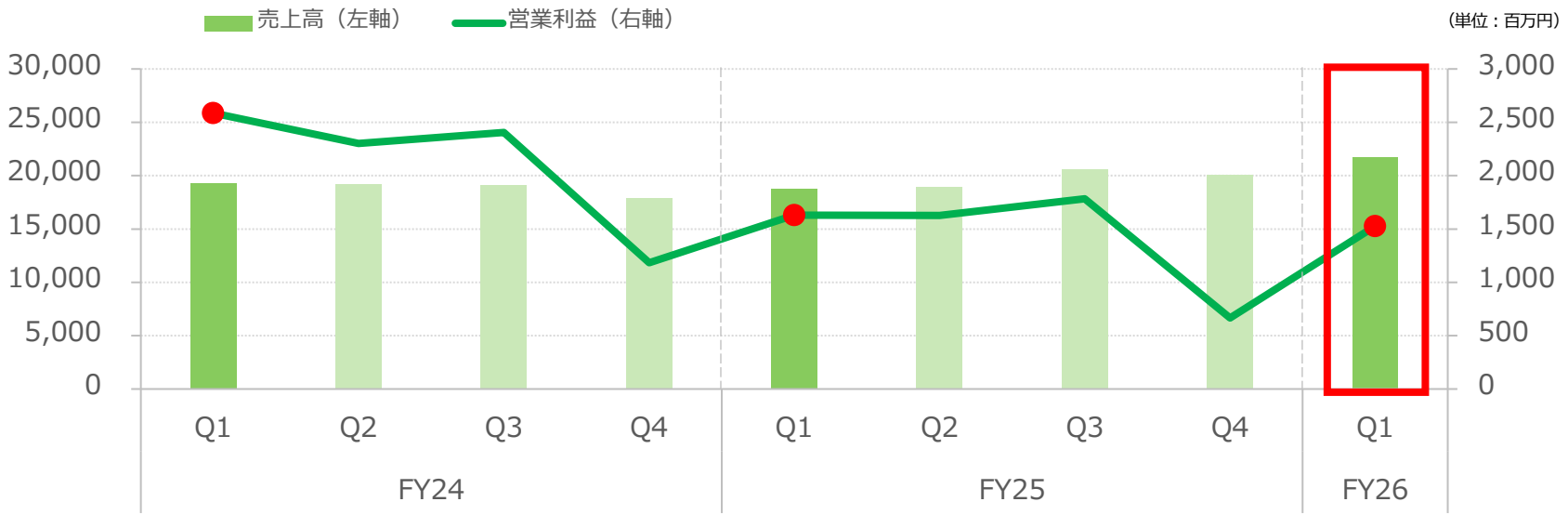
- ベース事業は全ての地域が堅調に推移したことと、為替好影響により増収
- プライマリー専業は欧州での既存プライマリーラベルの競争環境が通常水準に戻った影響が継続し、現地通貨ベースで減収

営業利益

- ベース事業は、全ての地域で増収効果があった一方、欧州の販管費などコスト増とアジア・オセアニアにおける工場収益が低下したことにより減益
- プライマリー専業は、欧州でのコスト増により減益

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

売上高・営業利益 推移



売上高	19,321	19,223	19,104	17,937	18,737	18,944	20,648	20,064	21,762
前年比	+17.4%	+12.4%	+8.2%	+7.2%	-3.0%	-1.4%	+8.1%	+11.9%	+16.1%
営業利益	2,586	2,303	2,405	1,183	1,629	1,626	1,782	666	1,526
前年比	+19.2%	-1.8%	-3.4%	-4.4%	-37.0%	-29.4%	-25.9%	-43.7%	-6.3%

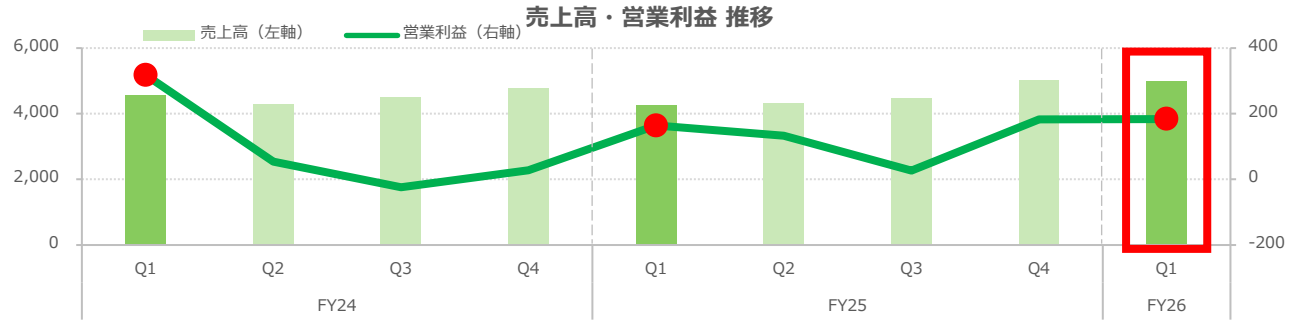
Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

米州 ベース事業

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減		
				前年比	現地通貨ベース
売上高	4,264	4,974	+710	+16.6%	+5.6%
営業利益	164	184	+20	+12.4%	+1.9%

※ アルゼンチンにおけるIAS第29号超インフレ会計適用の影響を含む



売上高	4,568	4,294	4,503	4,768	4,264	4,315	4,450	5,008	4,974
前年比	+4.9%	-2.7%	+4.9%	+11.5%	-6.7%	+0.5%	-1.2%	+5.0%	+16.6%
営業利益	318	54	-24	28	164	133	27	183	184
前年比	+61.3%	-32.9%	-	-	-48.4%	2.5倍	-	6.5倍	+12.4%

売上

- 米国はリテール市場においてBLEセンサータグ関連とECの大口案件が寄与したことで増収
- 南米はアルゼンチン販社、ブラジル販社共に好調であったことから増収

営業利益

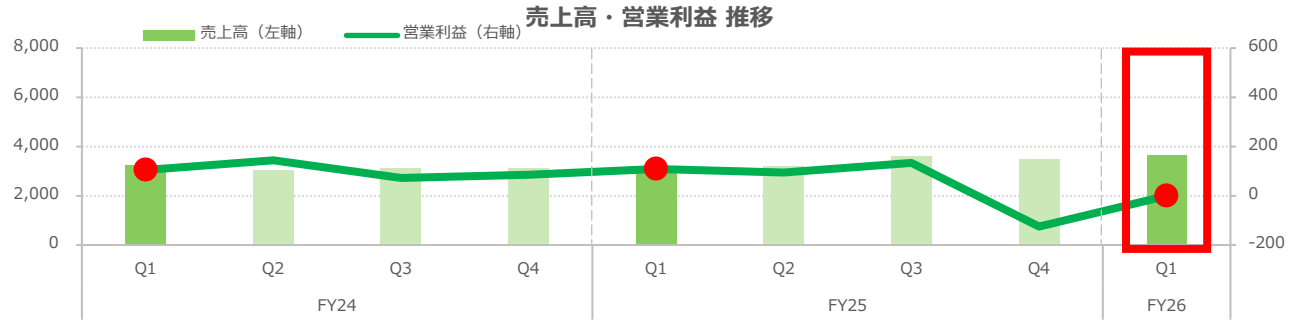
- 米国はコスト増の影響を上述の増収影響により吸収し増益
- 南米は上述の増収影響に加えて、商品ミックスの改善により増益

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

欧州 ベース事業

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減		
				前年比	現地通貨ベース
売上高	3,129	3,627	+498	+15.9%	+2.8%
営業利益	109	0	-110	-	-



売上高	3,221	3,028	3,106	3,121	3,129	3,191	3,582	3,457	3,627
前年比	+7.7%	+11.6%	+3.3%	+4.1%	-2.9%	+5.4%	+15.3%	+10.8%	+15.9%
営業利益	105	144	73	85	109	95	133	-125	0
前年比	-78.3%	+33.8%	-66.2%	+9.0%	+4.3%	-34.2%	+81.0%	-	-

売上

- 欧州全般は先行きの不透明感から投資意欲が低調だったものの、サプライ販売の増加により現地通貨ベースで増収

営業利益

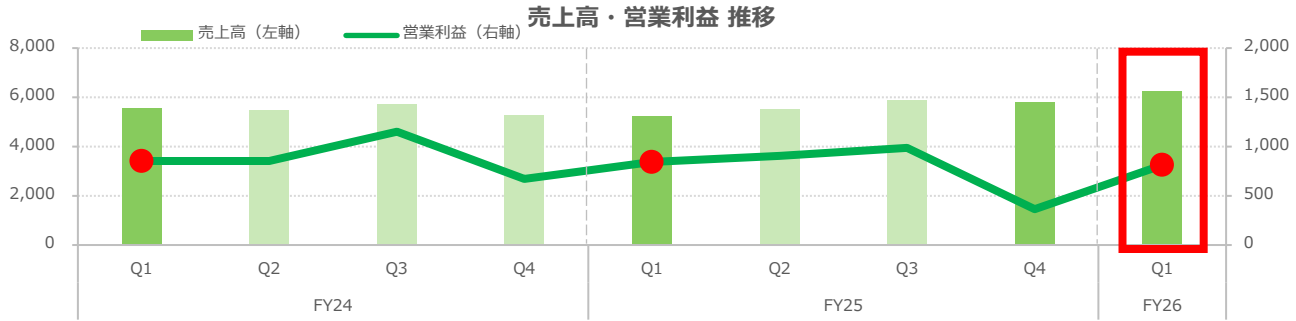
- 上述の増収影響と商品ミックス改善があったものの、インフレによる人件費増加と地域本部機能強化のための先行費用により減益

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

アジア・オセアニア ベース事業※

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減		
				前年比	現地通貨ベース
売上高	5,234	6,230	+996	+19.0%	+5.7%
営業利益	843	812	-31	-3.7%	-16.4%



売上高	5,564	5,483	5,718	5,251	5,234	5,516	5,882	5,801	6,230
前年比	+25.6%	+17.2%	+11.7%	+9.6%	-5.9%	+0.6%	+2.9%	+10.5%	+19.0%
営業利益	853	854	1,151	671	843	904	986	364	812
前年比	2.7倍	+74.2%	+49.7%	+25.0%	-1.1%	+5.9%	-14.3%	-45.7%	-3.7%

売上

- タイ販社はマニュファクチャリングを中心に全般に堅調な需要を捕捉したことに加え、Argoxにおいて間接販売における在庫調整が一巡したことで増収
- 豪州は大口RFID案件が一服したことで減収

営業利益

- 上述のアジアにおける増収効果が豪州の減収影響をカバーしたことで増益
- 一方で、前年同期の米国大口案件の剥落により工場収益が正常化し減益。結果、全体として減益

※ アジア・オセアニア地域の営業利益には、グローバル各子会社向けの商品供給を担う域内工場の利益を含む

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

海外 プライマリー専業

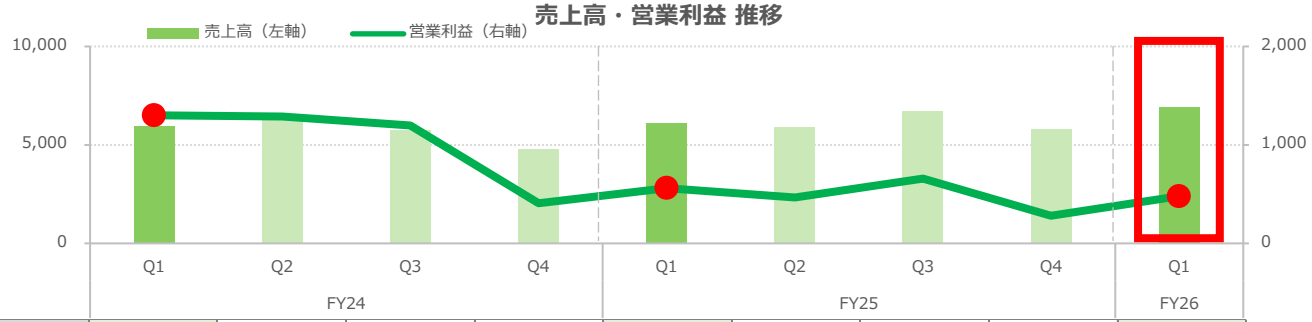
（単位：百万円）

		FY25	FY26	増減	前年比	現地通貨ベース
米州 Achernar社（アルゼンチン） Plakorar社（ブラジル）	売上高	922	994	+71	+7.8%	-1.6%
	営業利益	135	183	+48	+35.7%	+32.8%
欧州 Okil社/X-pack社（ロシア）	売上高	5,089	5,806	+717	+14.1%	-4.6%
	営業利益	413	284	-129	-31.2%	-42.5%
アジア・オセアニア Hirich社（ベトナム）	売上高	97	128	+31	+32.2%	+19.6%
	営業利益	12	9	-2	-22.9%	-30.2%
合計	売上高	6,109	6,929	+820	+13.4%	-3.7%
	営業利益	561	478	-83	-14.9%	-24.0%

※ アルゼンチンにおけるIAS第29号超インフレ会計適用の影響を含む

売上

- 欧州は生産設備増強の効果があったものの、競争環境継続の影響を受け、現地通貨ベースで減収
- 米州はインフレ影響により減収



	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
売上高	5,966	6,416	5,775	4,796	6,109	5,922	6,733	5,797	6,929
前年比	+27.6%	+21.1%	+10.5%	+2.9%	+2.4%	-7.7%	+16.6%	+20.9%	+13.4%
営業利益	1,301	1,290	1,198	409	561	468	658	281	478
前年比	+16.4%	-14.5%	+5.4%	-47.2%	-56.9%	-63.7%	-45.1%	-31.1%	-14.9%

営業利益

- 欧州は人件費や生産設備増強などコスト上昇の影響を受けて減益
- 米州はインフレ影響により人件費などコスト増の影響を受けたものの、商品ミックス改善により増益

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

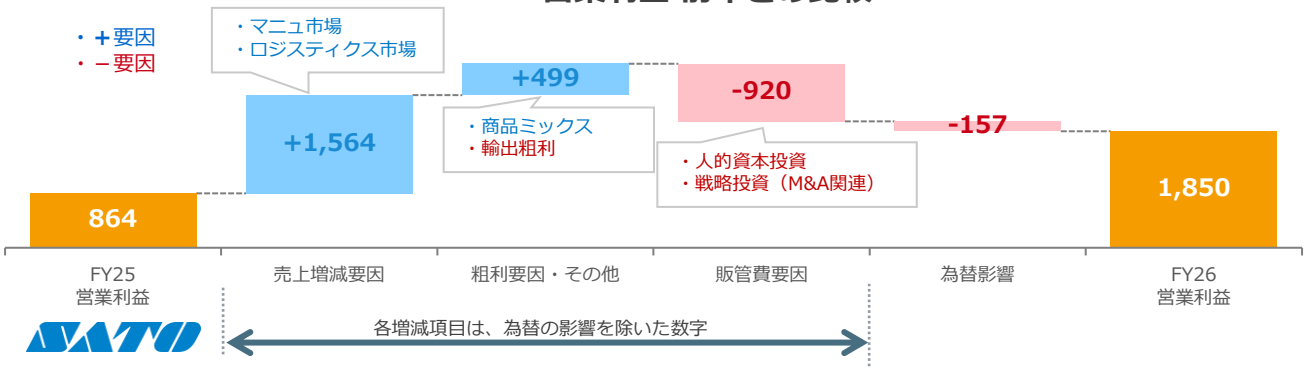
総括

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減	前年比
メカトロ売上高	7,180	9,354	+2,174	+30.3%
サプライ売上高	11,911	13,503	+1,592	+13.4%
外部売上高 計	**19,091**	**22,858**	**+3,766**	**+19.7%**
粗利額	8,935	10,842	+1,906	+21.3%
粗利率	46.8%	47.4%	+0.6pt	-
営業利益	**864**	**1,850**	**+985**	**2.1倍**
営業利益率	4.5%	8.1%	+3.6pt	-

メカトロ：プリンターやラベル自動貼付機器、スキャナー、ハンドラベラーなどのハードウェア、ソフトウェア、保守サポートなど
サプライ：消耗品。可変情報ラベル、RFIDタグ、プライマリーラベル（商品シール）、リボンなど

営業利益 前年との比較



売上

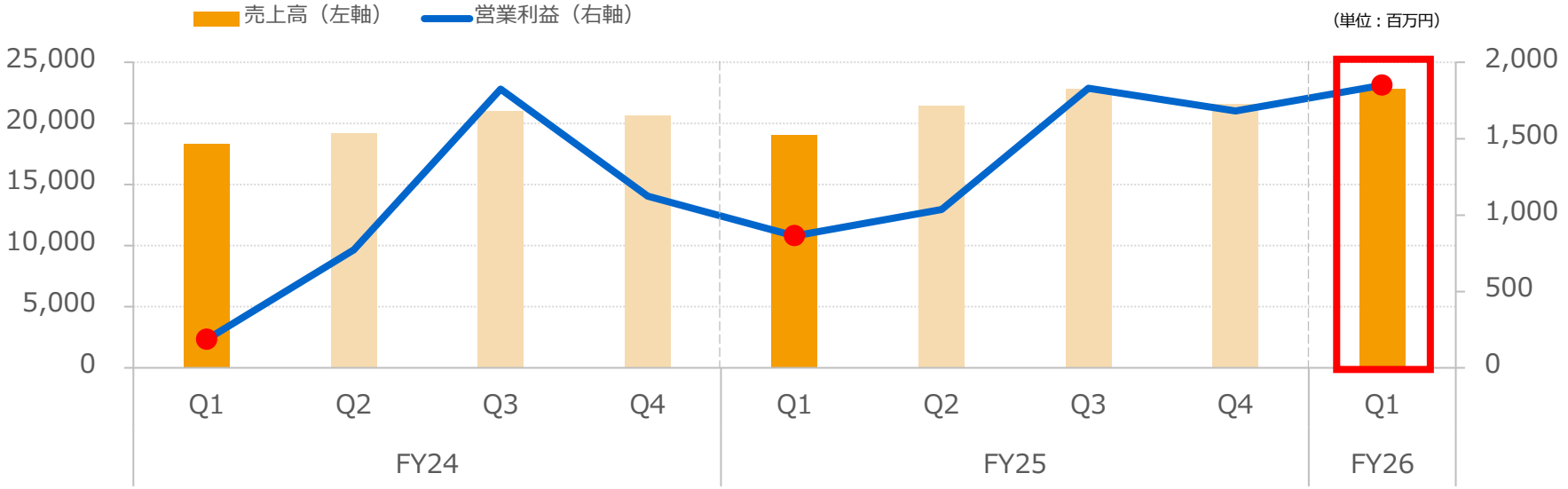
- メカトロ：新機種発売に伴うプリンター販売増加が寄与し増収
- サプライ：市場・業界による濃淡はあるものの、全般に中東情勢悪化と価格改定を見越した前倒し需要により増収

営業利益

- 人的資本投資やM&Aに伴う一過性の費用など販管費は増加
- 上述の増収効果と新機種発売に伴うプリンター販売増加による商品ミックスが奏功して増益

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

売上高・営業利益 推移



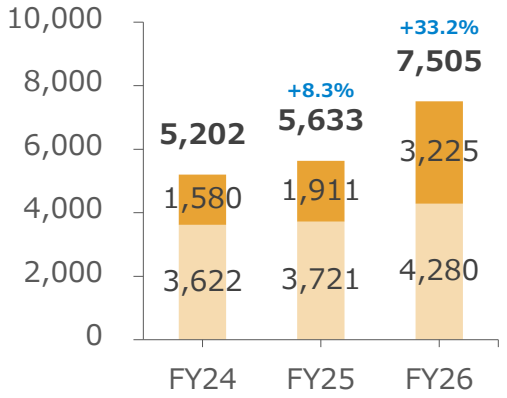
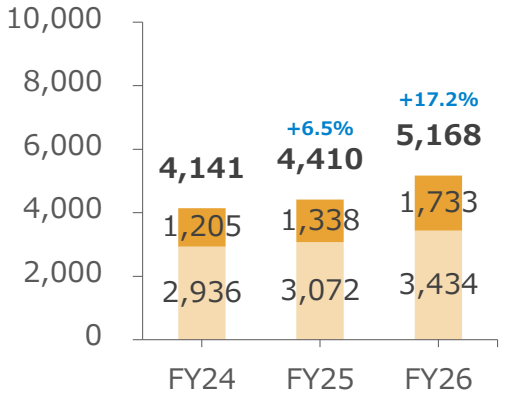
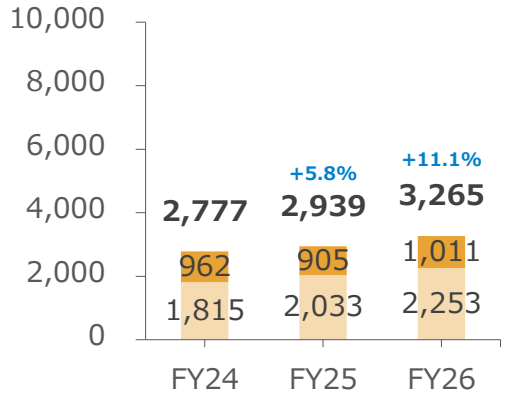
売上高	18,353	19,191	21,016	20,658	19,091	21,473	22,858	21,614	22,858
前年比	+4.7%	+2.7%	+5.2%	+7.0%	+4.0%	+11.9%	+8.8%	+4.6%	+19.7%
営業利益	186	773	1,824	1,123	864	1,036	1,830	1,682	1,850
前年比	-	7.3倍	+96.8%	+24.6%	4.6倍	+34.0%	+0.4%	+49.8%	2.1倍

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

市場別売上高推移　(1/2)※1

■：サプライ　■：メカトロ　（%は前年同期比）

（単位：百万円）

	マニュファクチャリング※2	ロジスティクス	リテール
売上高			
事業環境	生成AI向けなどの需要増加で先端半導体の生産が引き続き好調。中東情勢悪化に伴い、投資・調達が前倒しとなり好調に推移	小売各社の業績は堅調。人手不足や改正物流効率化法関連への対応ニーズが継続	食品スーパー店舗のDX化をはじめとする効率化への投資が引き続き好調。EC業界での投資も好調
当社状況	サプライは半導体関連業界向け販売の拡大に加え、ほぼ全ての業種で中東情勢悪化に伴う前倒し需要があったことで増加。メカトロは新型プリンターの販売がけん引して増加。加えて自動貼りやRFIDの大口案件が寄与	サプライは小売各社の堅調な販売と、主要な業界で中東情勢悪化に伴う前倒し需要があったことで増加。メカトロは新型プリンターの販売がけん引して増加。改正物流効率化法への対応や個人間取引に関連した大口案件も寄与	サプライはインバウンド需要の継続により商品小売業がけん引して増加。メカトロはプリンター更新需要を着実に捉えたことに加えて、EC業界向けの大口案件が貢献して増加

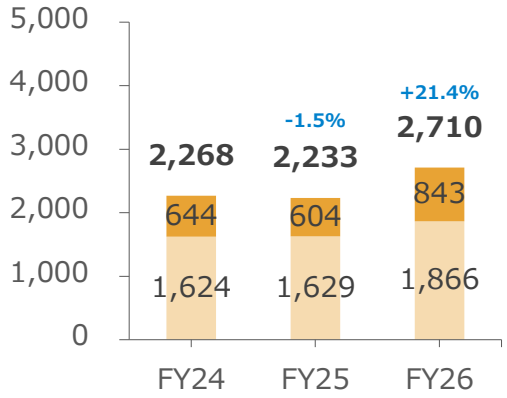
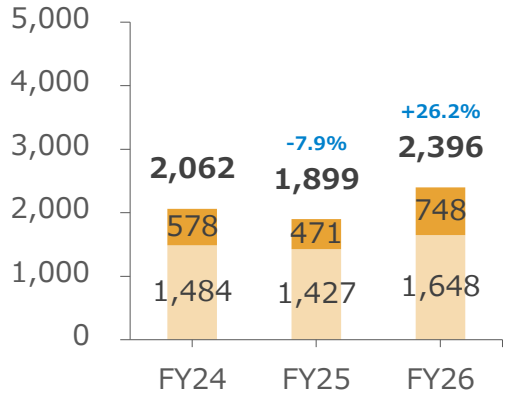
※1 FY24 Q1より保守サポート売上の一部をメカトロに計上。グラフは遡及修正後
※2 FY25 Q1よりマニュファクチャリングと公共を合算。グラフは遡及修正後

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

市場別売上高推移　(2/2)※1

■：サプライ　■：メカトロ　（%は前年同期比）

（単位：百万円）

	ヘルスケア	フード
売上高		
事業環境	管理業務効率化や人手不足への対応で、RFIDなど自動認識ソリューションへの投資は継続。需要は総じて底堅く推移	原材料と物流費の高騰や人手不足を背景に、自動化やRFIDなど効率化投資が継続。
当社状況	サプライは医療用リストバンドが好調であったこととRFIDを活用したニーズへの対応により増加。 メカトロは医療機器業界のRFIDや自動貼り関連の商談獲得に加え、病院業界などのプリンター更新需要を着実に捉えたことで増加	サプライはほぼ全ての業種で中東情勢悪化に伴う前倒し需要があったことで増加。メカトロは食品製造業でのHACCP※2対応の大口案件が寄与したことに加え、新型プリンターの販売がけん引して増加

※1 FY24 Q1より保守サポート売上の一部をメカトロに計上。グラフは遡及修正後
※2 食品製造中の食中毒や異物汚染などの危険を防ぐ衛生管理手法

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

FY26 業績予想

（単位：百万円）

	上期		下期		通期			
	修正後予想（2026年8月12日時点）	前年比	修正後予想（2026年8月12日時点）	前年比	期初予想（2026年5月15日時点）	修正後予想（2026年8月12日時点）	増減	前年比
売 上 高	86,100	+10.0%	85,900	+0.8%	168,500	172,000	+3,500	+5.2%
営業利益	6,000	+17.6%	6,100	+2.7%	11,700	12,100	+400	+9.6%
経常利益	5,800	+30.0%	5,800	+7.0%	11,200	11,600	+400	+17.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,900	+27.8%	3,800	+86.8%	7,400	7,700	+300	+51.4%
<参考> EBITDA	17,028 ←2025年度通期				18,100	18,500	+400	+8.6%

※ EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

為替レート（期中平均）

	期初予想（2026年5月15日時点）	修正後予想（2026年8月12日時点）
USD	150.00	155.00
EUR	175.00	180.00

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

FY26 業績予想 <内訳>

通期見通し（2026年5月15日）を上方修正
海外事業は据え置き・日本事業は売上高と営業利益を上方修正

（単位：百万円）

		上期			下期			通期		
		期初予想	修正後予想	増減	期初予想	修正後予想	増減	期初予想	修正後予想	増減
海外（ベース）	売上高	28,400	28,400	-	29,000	29,000	-	57,400	57,400	-
	営業利益	2,200	2,200	-	2,100	2,100	-	4,300	4,300	-
海外（プライマリー）	売上高	12,200	12,200	-	12,400	12,400	-	24,600	24,600	-
	営業利益	1,000	1,000	-	900	900	-	1,900	1,900	-
海外 消去	営業利益	0	0	-	0	0	-	0	0	-
海外	売上高	40,600	40,600	-	41,400	41,400	-	82,000	82,000	-
	営業利益	3,200	3,200	-	3,000	3,000	-	6,200	6,200	-
日本	売上高	42,000	45,500	+3,500	44,500	44,500	-	86,500	90,000	+3,500
	営業利益	2,400	2,800	+400	3,100	3,100	-	5,500	5,900	+400
消去	営業利益	0	0	-	0	0	-	0	0	-
連結	売上高	82,600	86,100	+3,500	85,900	85,900	-	168,500	172,000	+3,500
	営業利益	5,600	6,000	+400	6,100	6,100	-	11,700	12,100	+400

※修正後予想のFY26 Q2より平野屋物産の売上高のみ追加

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

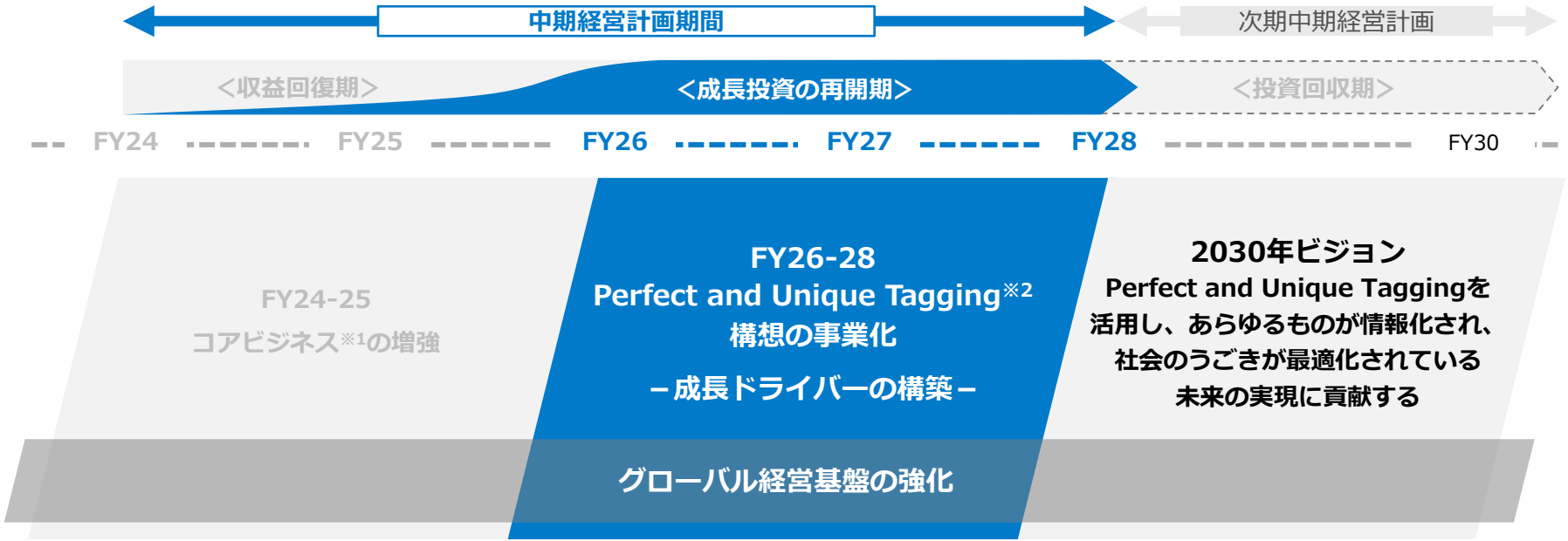
FY26 Q1実績

中期経営計画 進捗
– 成長投資の再開 –

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

FY26は成長投資再開期の初年度

FY24-25に収益力の回復を進め、FY26から成長投資を本格化
中期経営計画の実行を通じて、持続的な成長と資本効率の向上をめざす



※1 日本・海外ベース事業、海外プライマリー専業の既存事業
※2 2030年ビジョンを実現するタギング（モノやヒトにIDや位置などの情報を物理的にひも付けすること）の手法。略称：PUT

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

FY25は営業キャッシュフローを着実に創出し、事業基盤投資・株主還元を実行
FY26から戦略投資を本格化

中期経営計画（FY25-28）キャピタル・アロケーション※1

資金の源泉

営業キャッシュフロー

FY25-28計画 55,000 百万円

FY25実績 13,273 百万円

デットファイナンス

FY25-28計画 15,000 百万円

FY25は借入金返済が先行
借入金返済額 2,174 百万円

資金の配分

項目	FY25-28計画	FY25実績
戦略投資	15,000～20,000 百万円	100 百万円
事業基盤投資	～30,000 百万円	7,804 百万円
株主還元	10,000～20,000 百万円	配当 2,474 百万円

FY25実績のポイント

戦略投資

- FY25は投資案件の探索・検討を中心に推進
- FY26からM&Aを含む投資を本格化

事業基盤投資

- グローバル経営基盤の強化を中心に着実に実施

株主還元

- 累進配当方針に基づき、配当総額2,474百万円を実施

※1 2027年4月導入予定の新リース会計基準の影響を除く

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

FY28に向け、PUT構想を起点に新たな事業機会を開拓する「拡張領域」と コアビジネス・経営基盤への投資を進めるとともに、株主還元を着実に実施

中期経営計画（FY25-28）
における資金配分の進捗※1



FY25-28　戦略投資※2 の主な内容

M&A等を通じ、主に拡張領域の事業化に必要な機能・体制を獲得・強化

【戦略テーマ】血液・検体SCM※3、スマートパッケージング、サーキュラーエコノミー、物流DX

- ✓ 軟包装材※4・プライマリーラベルの製造・販売機能の獲得
- ✓ 血液・検体SCMのグローバルエコシステムの構築
- ✓ AI等の新技術を活用したソリューション開発
- ✓ 資源循環を支えるデータ活用ソリューションの開発

FY25-28　事業基盤投資の主な内容

コアビジネスの競争力向上と経営基盤の強化に向けた投資

- ✓ サプライのグローバル生産体制強化
- ✓ プリンター新製品の開発・商品化
- ✓ ITシステム、サイバーセキュリティの高度化とAI利活用の拡大
- ✓ グローバルブランド基盤の構築

FY25-28　株主還元の考え方

累進配当を基本方針とし、財務余力に応じて追加還元を判断

- ✓ 連結DOE3%以上を目安として運用
- ✓ 配当・自己株式取得等による機動的な追加還元

※1 戦略投資・事業基盤投資には、M&A・設備投資等に加え、事業開発および経営基盤強化に係る一部の費用性支出を含む。運転資金は進捗表示の対象外
※2 戦略投資には、コアビジネス関連のM&A等も含む
※3 サプライ・チェーン・マネジメント
※4 フィルム素材を用いた柔軟な包装材

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

拡張領域への戦略投資：スマートパッケージング

平野屋物産のグループ化により、プライマリー専業をラベルから軟包装材へ拡張
ベース事業の可変情報・ID付与・データ活用機能と組み合わせ、提案領域と収益機会を拡大

既存事業で培った機能

ベース事業

可変情報の付与・識別、データ連携



プライマリー専業

固定情報ラベルの印刷・加工



戦略投資

2026年6月 平野屋物産をグループ化
軟包装の製造・販売機能を獲得



- 一貫製造体制
- 機能性・特殊形状など高付加価値品に強み

スマートパッケージングへ拡張

包装材 × 情報付与・活用

包装材へのID付与から、可変情報の検査・履歴管理、データ連携まで一気通貫で提案





- クロスセル機会の拡大
- 取得・活用データの拡大
- リカーリング収益機会の拡大

市場変化：個品単位で情報を付与・管理し、データを活用するニーズが拡大

タグ：パレット単位



タグ：箱の単位



＋

タグ：個品単位



個品データ活用がもたらす変化

- ✓ 安全性・真正性の担保
- ✓ 需給・在庫の最適化
- ✓ パーソナライズされた情報提供
- ✓ 回収・再利用による資源循環

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

拡張領域における今後の展開：血液・検体SCM

特許技術「PJM RFID」を核に、パートナーエコシステムと実行体制を強化し、グローバル展開を加速

競争優位：血液管理に適した特許技術「PJM RFID」

人手不足を背景に、血液バッグ・検体のトレーサビリティ確保と省力化のニーズが世界的に拡大

- 高速・高精度読み取り
- 積層・液体環境でも安定読み取り
- 既存の冷蔵・冷凍設備への組み込みが可能



採血から輸血までのプロセスを高度化し
安全性・業務効率の向上と廃棄ロス削減に貢献



国際血液関連展示会で血液バンク責任者が
PJMの有用性と活用実績を紹介

バリューチェーンの各工程をカバーする商品



今後の投資対象：パートナーエコシステム

**M&A、出資、協業などを通じてグローバルなパートナー網を構築し
ソリューションの開発・販売を加速**

サトー × 血液バッグ × 保管設備 × 血液管理システム

エコシステム構築の成果事例

シンガポール全土の次世代血液供給管理を支援

- シンガポール保健科学庁の血液事業部門および国内全ての公立・私立病院の血液バンク検査室で稼働
- CADI Scientificと協業し、血液のオンライン発注と血液成分の自動追跡を実現。サトーはPJM RFIDラベルおよびリーダーを提供

グローバル展開を支える実行体制

- **海外事業かつヘルスケアの経験・知見が豊富な執行役員を新たに配置**
- **専門人財を拡充し、グローバル案件の推進力を強化**

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

成長投資を最優先に、事業基盤投資と累進配当を着実に実行
財務余力に応じ追加還元の実施を機動的に判断

資金の源泉と配分の考え方

営業キャッシュフロー
事業活動を通じてキャッシュを着実に創出

デットファイナンス
財務健全性・格付けに配慮し、成長投資を含む資金需要に応じて機動的に活用

① 戦略投資への優先配分
- 資本コストを踏まえ、戦略投資・M&A等を厳選して実行
- 投資案件ごとのKPIモニタリングを強化

② 事業基盤投資等への着実な配分
- 運転資金、事業基盤投資に必要な資金を確保し、適正な手元流動性を維持

③ 安定的な株主還元
- 累進配当を基本方針とし、連結DOE3%以上を目安として運用

投資進捗、将来の資金需要、安定的な株主還元の実施状況を踏まえ、財務余力を確認

④ 機動的な追加還元
- 投資進捗、将来の資金需要、財務余力、資本市場の状況等を踏まえ、追加還元の時期・手段・規模を判断

中計目標との連動

企業価値向上

利益成長 × 資本効率・B/Sマネジメント

ROIC・ROE向上
FY28 ROE 10.2%

PBR1倍以上の早期実現をめざす

財務健全性の維持

格付けA－の維持・向上

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

資本効率および株主還元の向上を目的として、20億円を上限とする自己株式取得を実施

自己株式の取得・消却の概要

取得期間	2026年8月13日～2027年2月26日
金額上限	20億円
株数上限	100万株 発行済み株式総数（自己株式を除く）に対する割合 3.1%

取得した自己株式は全株消却予定　消却予定日：2027年3月19日

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

Appendix

補足資料　P. 27～P. 37

用語集　P. 38～P. 41

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

事業別商品概要

連結売上高：163,434百万円（FY25）　100%

ベース事業

連結売上高の85%　(地域別売上高構成比：米州 13%、欧州 10%、アジア・オセアニア 16%、日本 61%)

メカトロ 41%

プリンター



ハンドラベラー
その他ハード



ソフトウェア



保守サポート



サプライ 44%

タグ・ラベル



プライマリー専業

15%　(地域別売上高構成比：米州 15%、欧州 83%、アジア・オセアニア2%)

サプライ 100%

シール
(プライマリーラベル)



Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

RFID/自動化ソリューション売上高 推移

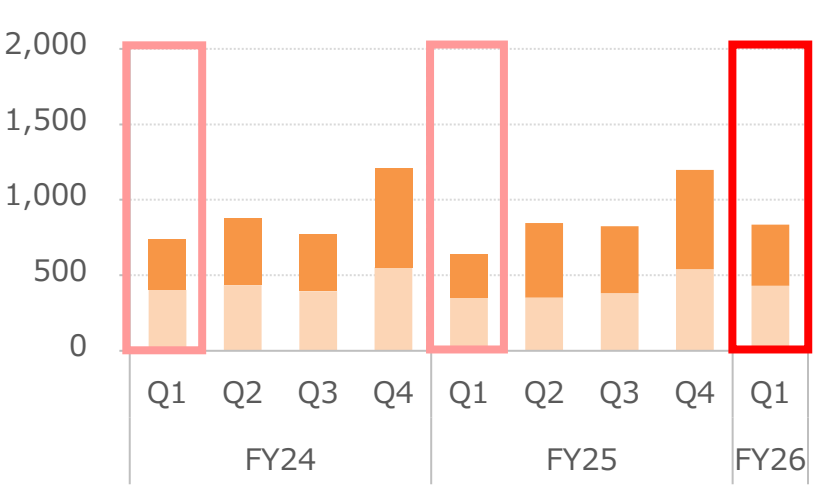
人手不足やDX化への対応を背景に需要は堅調
RFIDは、中東情勢悪化に伴う前倒し需要や大口案件によりほぼ全ての市場が好調であったことから増加
自動化は、マニュファクチャリングとリテール市場が好調に推移して増加

（単位：百万円）

RFID



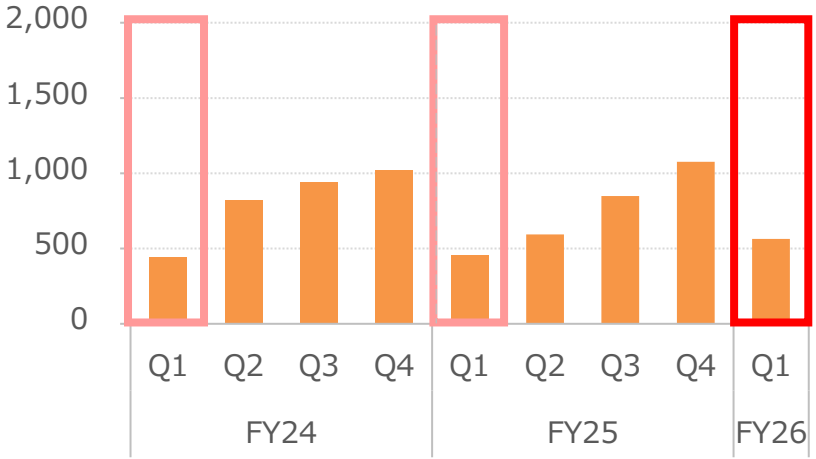
FY26 Q1 前年比：**30.9**%増



自動化※



FY26 Q1 前年比：**24.8**%増



※ 自動化は、ハードウェアとソフトウェアの合算（サプライと保守は除く）

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

RFID/自動化ソリューション売上高 推移

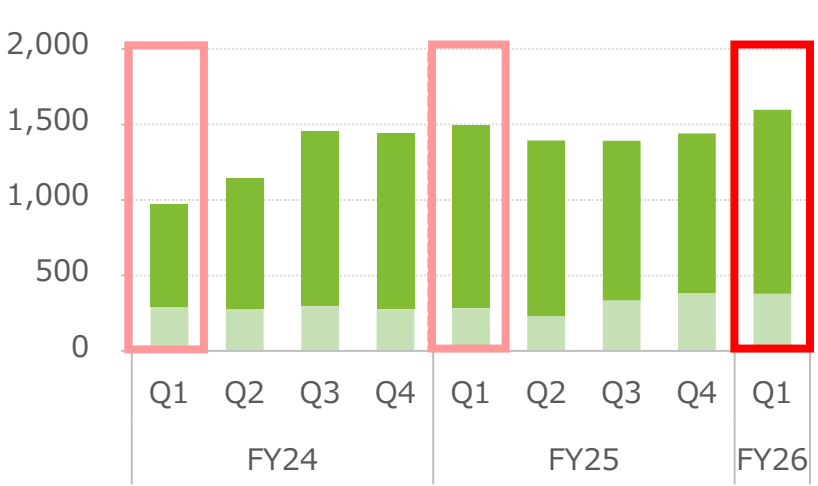
人手不足やDX化への対応を背景に需要は堅調
RFIDは、豪州の大口案件が一服したものの、米州の大口案件が牽引して増加
自動化は、前年同期の米国リテールとロジスティクス市場向け大口反動減で減少

（単位：百万円）

RFID



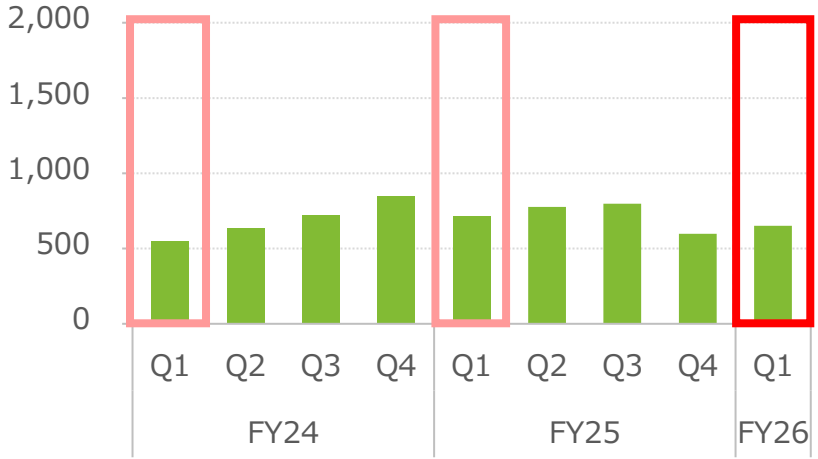
FY26 Q1 前年比：**7.1**%増



自動化※



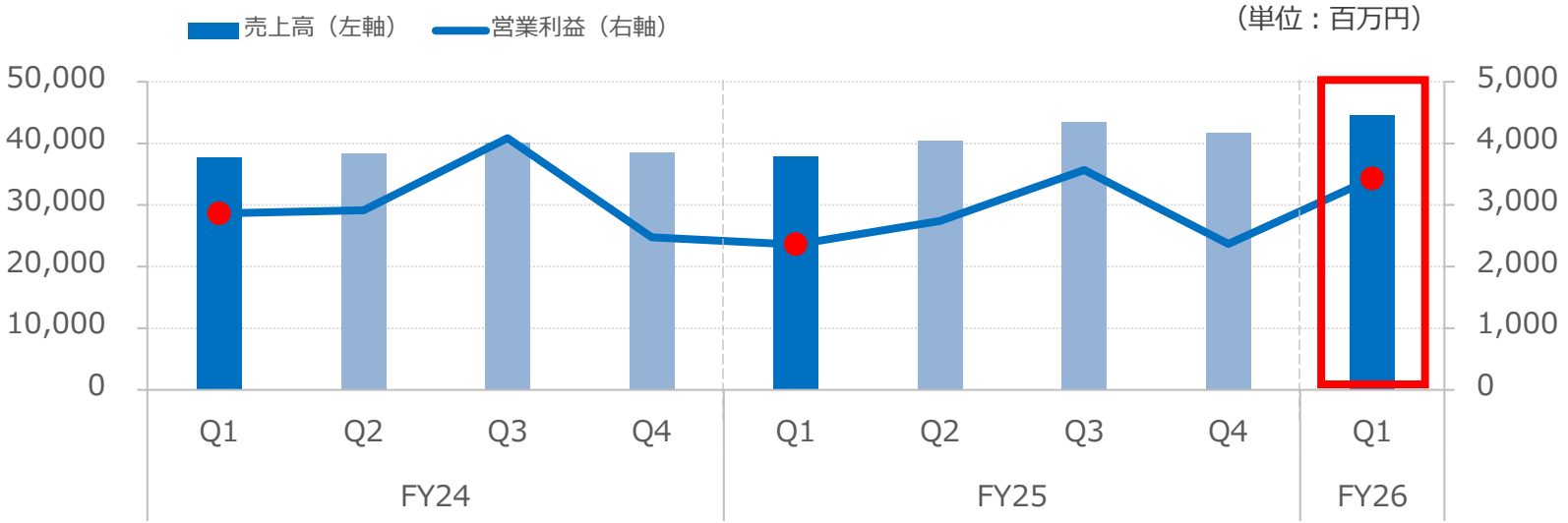
FY26 Q1 前年比：**9.1**%減



※ 自動化はハードウェアのみ

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

売上高・営業利益 推移



売上高	37,674	38,415	40,121	38,596	37,829	40,418	43,507	41,679	44,621
前年比	+10.8%	+7.3%	+6.6%	+7.1%	+0.4%	+5.2%	+8.4%	+8.0%	+18.0%
営業利益	2,864	2,914	4,086	2,475	2,359	2,741	3,571	2,368	3,429
前年比	+32.6%	+18.4%	+17.9%	+7.8%	-17.6%	-5.9%	-12.6%	-4.3%	+45.3%

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

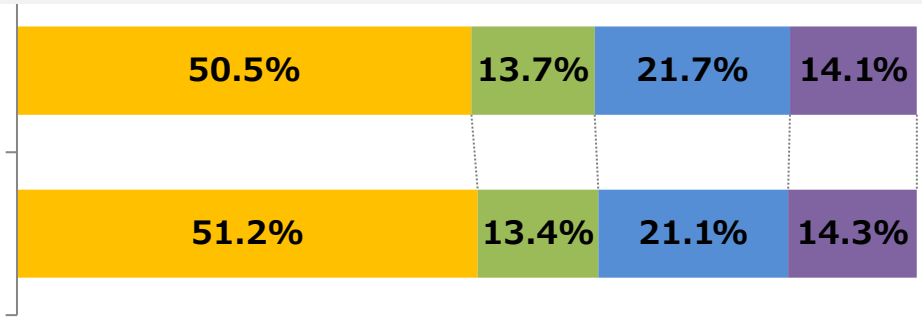
地域別売上高および営業利益構成

日本　米州　欧州　アジア・オセアニア　（単位：百万円）

売上高

37,829

44,621

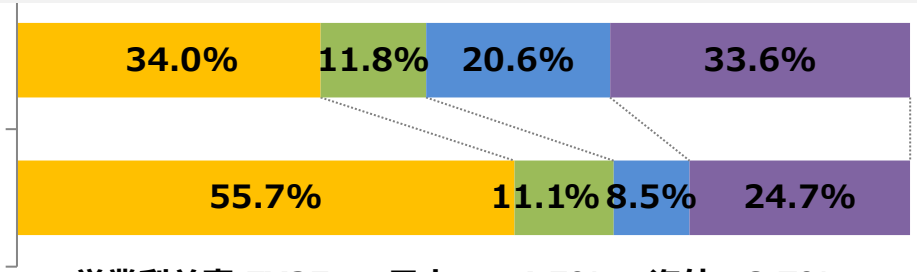


営業利益

※ 構成比は消去を除く

2,494

3,376



営業利益率	FY25	日本：	4.5%	、海外	8.7%
	FY26	日本：	8.1%	、海外	7.0%

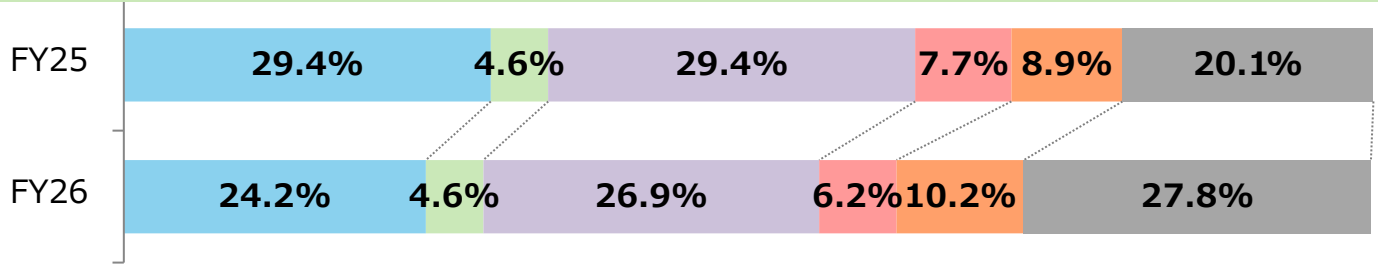
Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

市場別売上高構成

マニュファクチャリング　ロジスティクス　リテール　ヘルスケア　フード　その他

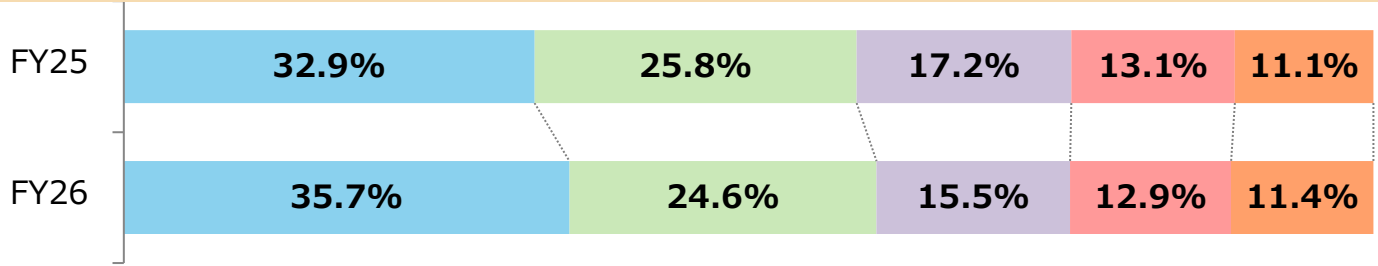
海外

※ 主な販社。工場・プライマリー専業会社は除く



日本

※ 保守等は除く



※ FY25Q1より公共とマニュファクチャリングを合算。グラフは遡及修正後

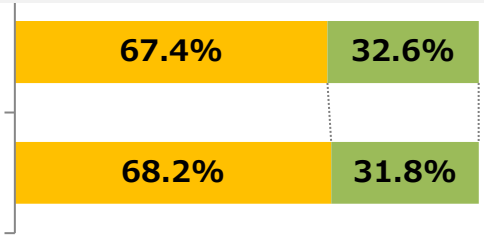
Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

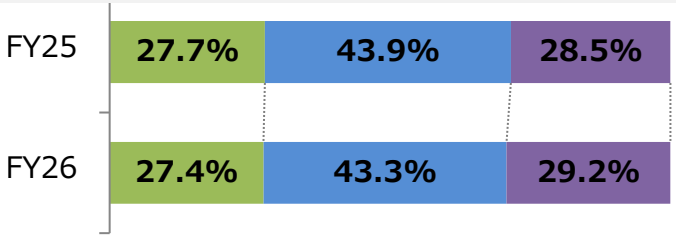
売上高及び営業利益構成 (事業別・地域別)

（単位：百万円）

売上高

18,737 → 21,762

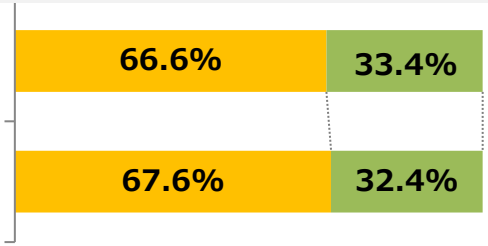


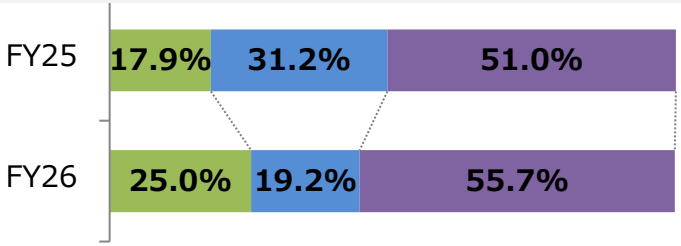


営業利益

※ 構成比は消去を除く

1,629 → 1,526





FY25	ベース： 8.9% 、プライマリー： 9.2%	
FY26	ベース： 6.7% 、プライマリー： 6.9%	

FY25	米州： 5.8% 、欧州： 6.4% 、	
	アジア・オセアニア： 16.1%	
FY26	米州： 6.2% 、欧州： 3.0% 、	
	アジア・オセアニア： 12.9%	

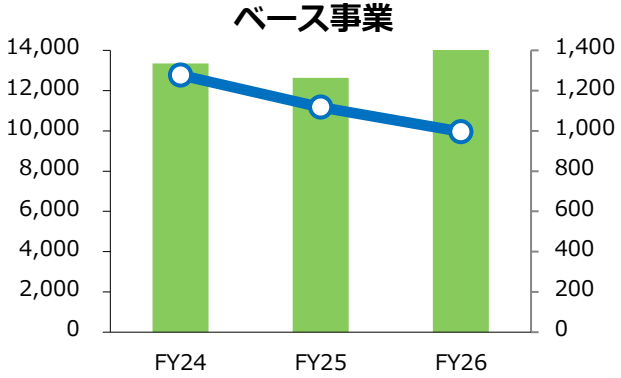
Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

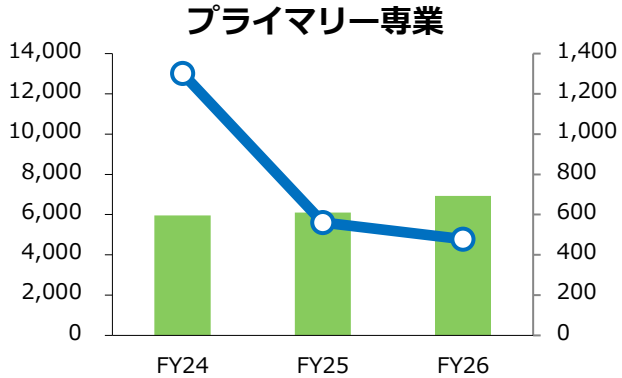
事業別および地域別売上高および営業利益推移

事業別

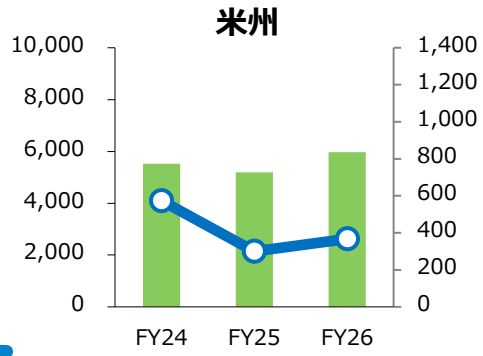


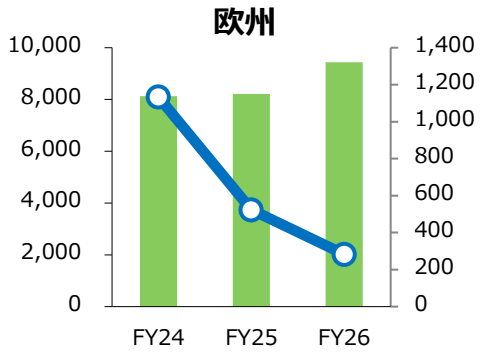
（単位：百万円、左軸：売上高、右軸：営業利益）

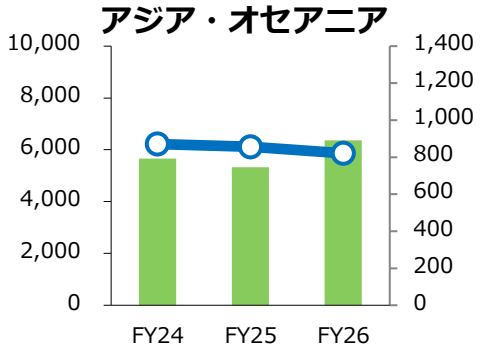




地域別







Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

事業セグメント別売上高および営業利益（ロシア子会社を除外）

（単位：百万円）

			FY25	FY26	前年比	現地通貨ベース
連結		**売上高**	**32,740**	**38,814**	**+18.6%**	**+13.4%**
		営業利益	**1,922**	**3,121**	**+62.4%**	**+64.0%**
海外	ベース事業	売上高	12,628	14,832	+17.5%	+5.0%
		営業利益	1,118	996	-10.9%	-22.1%
	プライマリー専業	売上高	1,020	1,123	+10.1%	+0.4%
		営業利益	124	170	+37.0%	+36.2%
	消去	営業利益	-50	51	-	-
	計	売上高	13,648	15,956	+16.9%	+4.6%
		営業利益	1,192	1,218	+2.2%	-8.4%
日本		売上高	19,091	22,858	+19.7%	+19.7%
		営業利益	864	1,850	2.1倍	2.3倍
消去		営業利益	-134	52	-	-

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

業績（ロシア子会社を除外）

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減	前年比
売 上 高	32,740	38,814	+6,074	+18.6%
営業利益	1,922	3,121	+1,199	+62.4%
営業利益率	5.9%	8.0%	+2.2pt	-
経常利益	1,659	3,033	+1,373	+82.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,060	2,425	+1,365	2.3倍
実効税率	32.9%	19.7%	-13.2pt	-
EBITDA※	3,072	4,396	+1,324	+43.1%

為替レート（期中平均）

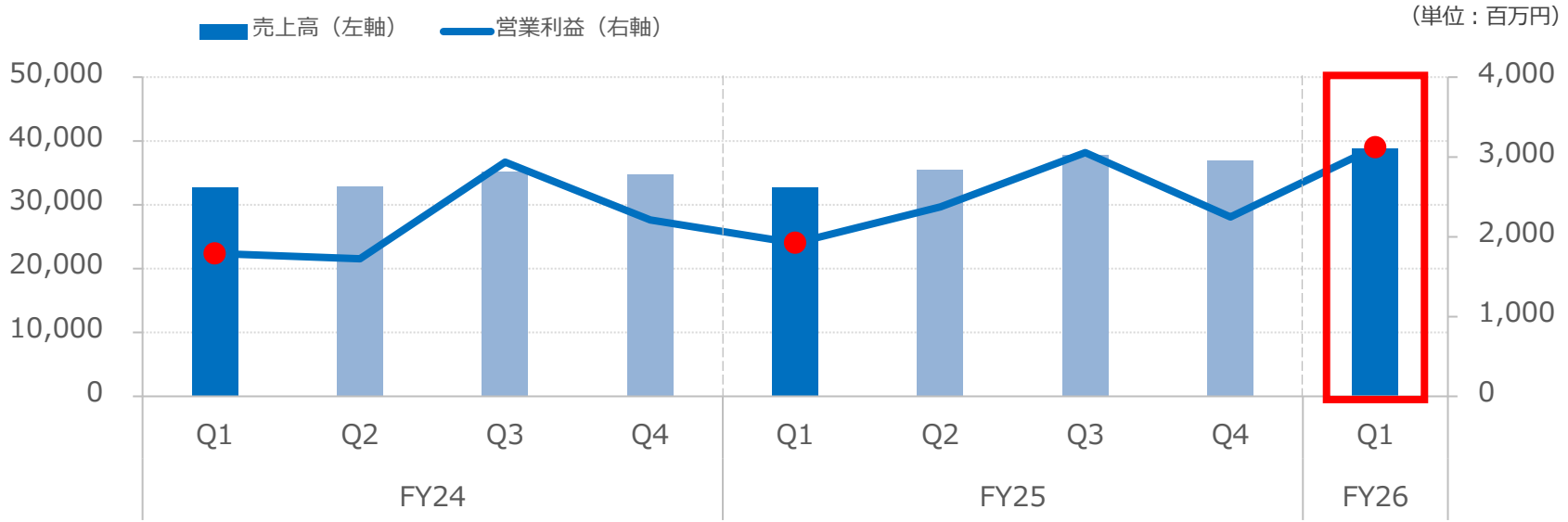
USD	144.59	159.56
EUR	163.80	185.41

※ EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

減価償却費	1,146	1,271
のれん償却	3	3

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

売上高・営業利益 推移（ロシア子会社を除外）



売上高	32,770	32,918	35,238	34,786	32,740	35,488	37,792	37,015	38,814
前年比	+8.1%	+4.7%	+5.4%	+7.8%	-0.1%	+7.8%	+7.3%	+6.4%	+18.6%
営業利益	1,789	1,724	2,935	2,209	1,922	2,373	3,054	2,249	3,121
前年比	+46.5%	+55.2%	+8.5%	+40.0%	+7.4%	+37.6%	+4.1%	+1.8%	+62.4%

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

用語集（1/4）

	サトー独自のコンセプト・取り組み	説明
1	**自動認識ソリューション事業**	DCS & Labelingを展開。具体的には、お客さまの課題に基づいて自社で開発・製造したバーコードプリンターやラベル、自社で設計したソフトウェアやサービス、外部パートナーの技術や商品などを組み合わせて提供。本事業は海外と日本に区分され、海外はベース事業とプライマリー専業から構成される。
2	**DCS & Labeling** （DCS: Data Collection Systems）	バーコードやRFIDなどの自動認識技術とプリンターやラベルなどの商品・サービスを活用し、さまざまな現場にあるモノや人の情報（＝Data）を正確かつ効率的に収集（＝Collection）する仕組み（=Systems）と、情報を最適な形でひも付けするタギング（含むLabeling）を提供するサトーグループのビジネスモデル。 また、お客さま課題の高度化を受け、オープンなイノベーションやパートナーシップを活用し、本ビジネスモデルに画像認識・音声認識や位置測位技術、センサーなど、さらに付加価値を高める技術を組み合わせることで、お客さま課題の解決手法をさらに向上させている。
3	**ベース事業**	バーコードや商品価格、製造年月日、消費期限など可変情報をタギングするビジネス。
4	**プライマリー専業**	商品ラベルなどの固定情報ラベルをタギングするビジネス。 Achernar（アルゼンチン）、Prakolar（ブラジル）、Okil（ロシア）、X-Pack（ロシア）、Hirich（ベトナム）からなる。
5	**タギング**	お客さまの現場でモノや人にIDや状態情報を物理的にひも付けし、現物と情報を一致させ、デジタル化された情報を活用できるようにする作業。 この「現物と情報の一致」は、商品に価格等の情報をひも付けするハンドラベラーの時代から続く。
6	**コト売り**	商品の単品売りではなく、ハードウェアやサプライ、保守サービス、ソフトウェア等を組み合わせたソリューションを、ROIの提示を含めて提案する売り方。単品売りの「モノ売り」に対する概念。
7	**Perfect and Unique Tagging** (PUT)	モノや人に対し、IDなどの属性情報に加え、位置情報やセンサーなどから得られる状態情報をひも付けることにより、完全かつ唯一無二な個体情報をトレースできるようにする高難度な課題を解決するタギング手法。人手を介さず動作と一体化した全自動の読み取りで状態を識別・管理ができる。PUTを活用したソリューションにより、企業単位の現場課題だけでなく社会全体の共通課題の解決をめざす。

*下線付き用語は別途説明項目あり

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

用語集（2/4）

サトー独自のコンセプト・取り組み（続き）		説明
8	**現場力**	さまざまな市場・業界のお客さまの現場と向き合い、運用を理解し、課題の本質を捉えて最適な解決策を提供する力。 カバレッジ(現場を知ることで蓄積された幅広い「市場x業界x用途」の課題へ対応する力)、インテグレーション(戦略パートナーとの共創に基づき、商品・サービス・技術を統合して提供する力)、メンテナンス(継続的なソリューション提供でお客さまの信頼を醸成し、深く、長い関係を構築する力)の3つの要素で構成される。
9	**三行提報**	社員が現場でキャッチした、会社を良くするための情報やアイデアを約三行（100～150文字）にまとめ、毎日経営トップに直接提出する取り組み。経営トップはいち早く社内外の環境変化を把握し、迅速な意思決定や必要な施策を講じ、社員は経営者と同じ目線で物事を考える「全員参画の経営」に寄与。また経営トップに直接提出することから、不正や不適切な行為などを防ぐモニタリングとしての役割も担っており、コーポレートガバナンスの面においても効果を発揮。 1976年から始まり、近年は海外拠点の導入も増えている。
商品・サービス・技術		**説明**
1	**自動認識ソリューション**	DCS & Labelingを実現するための商品・サービス。具体的にはプリンター、ラベル、ソフトウェア、保守サポートなどの組み合わせ。加えて、近年は複雑化・多様化するお客さま課題に応えるため、自前主義に拘らず、パートナーシップを推進することによって実現をめざす。例えば位置測位技術を用いてモノや人の位置情報を取得し、作業者や在庫の動きをリアルタイム捕捉することで、工数・作業時間の見える化や製造工程の進捗管理を実現。
2	**メカトロ商品**	プリンターやラベル自動貼付機器、スキャナー、ハンドラベラーなどのハードウェア、ソフトウェア、保守サポートなど、サプライ商品以外のすべて。粗利率はサプライ商品よりも高い。プリンターはマレーシア、ベトナムおよび台湾にて製造。
3	**サプライ商品**	可変情報ラベル、RFIDタグ、プライマリーラベル（商品シール）、リボンなどの消耗品。粗利率はメカトロ商品よりも低いが、リピートビジネスのため販売管理費率は低い。
4	**可変情報ラベル**	バーコードや商品価格、製造年月日、消費期限など、お客さまの現場で必要に応じて変化させる情報を印字する用途のラベル。必要な時に必要な分だけ発行できる点が、固定情報を一度に大量印刷するプライマリーラベル（商品シール）との大きな相違。

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

用語集（3/4）

	商品・サービス名・技術 （続き）	説明
5	**RFID** （Radio Frequency Identification）	自動認識技術の一つ。電波を利用してデータの読み書きを行い、①複数一括読み取り、②非接触での読み取り、③遮蔽物や汚損があっても可能な読み取り、④情報の書き換え、といったバーコードには無い特性を持つ。これにより、業務効率の飛躍的な向上が可能。
6	**PJM** （Phase Jitter Modulation）	HF帯の周波数を用いた、国際標準規格ISO/IEC18000-3 Mode 2に準拠したRFID技術。サトーは、実装に向けた読み取り回路やシステムに関して多くの特許を有している。1秒に最大600個のRFIDタグを高速かつ正確に読み取ることができるのに加え、特殊環境における読み取り（-80℃まで動作可能、液体の干渉を受けない、積層状態でも読み取りができる、医療用滅菌など放射線耐性）に強いのが特長。条件や環境によっては、金属の干渉を受けにくい運用も提案できる。上記の優位性により、血液バッグや整形外科インプラントの運用・管理で普及が進んでいる。
7	**SOS** (SATO Online Services)	お客さまのプリンターをクラウドに接続して遠隔でモニタリングを行うサービス。これにより予防保守やエラー時の早期復旧が可能となる。またお客さまはプリンターの稼働・活用状況を一覧でき、資産管理が容易となる。 一方サトーにとっては、予防保守の実現による保守人員の労働生産性向上や、保守人員が少ない海外におけるサポート向上に寄与。
8	**AEP** (Application Enabled Printing)	プリンターに内蔵された知能がラベル発行作業を最適化。PCを介さずプリンター単体での他システムとの連動も可能。
9	**SATO AEP CLOUD** (SATO Application Enabled Printing Could)	2025年4月に欧州子会社のSATO Europe GmbHがローンチしたクラウド型のaPaaS (Application Platform as a Service)。お客さまが直面している複雑なラベル貼り付けの運用や法規制（例：デジタル製品パスポート）などの課題に対して、ノーコード・ローコードで柔軟かつ迅速なアプリケーション設計が可能となる。これにより、運用精度、業務効率、コスト管理などの実現に寄与。
10	**サプライヤーマーキング**	納品先がベンダーやサプライヤーに対し、商品・製品の納品時に指定の情報を記載したラベルを貼付することを要請する運用。

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

用語集（4/4）

2012年以降に買収等した主な会社		説明
1	**Argox Information Co., Ltd.**（台湾）	2012年に買収したエントリー・モデルのプリンターの開発・製造・販売子会社。
2	**Achernar S.A.**（アルゼンチン）	2012年に買収したプライマリー専業子会社。
3	**Magellan Technology Pty Ltd.**（オーストラリア）	ISO/IEC18000-3 Mode 2に準拠したRFID技術「PJM（Phase Jitter Modulation）」を有するMagellan Technology Pty Ltd.の事業を2013年に譲り受け、SATO Vicinity Pty Ltd.を設立。
4	**Okil-Holding, JSC**（ロシア）	2014年に買収したプライマリー専業子会社。サトーが75%の株式を保有。同国のX-Packは関連会社。
5	**Prakolar Rótulos Autoadesivos Ltda.**（ブラジル）	2015年に買収したプライマリー専業子会社。
6	**High Rich Trading & Service Corporation**（ベトナム）	2017年に株式取得したプライマリー専業子会社。サトーが49%の株式を保有。略称はHirich。
7	**Stafford Press, Inc.**（米国）	2023年に買収した花卉用タグ・ラベル（花や植物の品種名や写真が表示され、鉢やプランターに付けるタグやラベル）と、それらをオンデマンドでカラー発行するインクジェットプリンターの製造・販売子会社。
8	**株式会社平野屋物産**（日本）	2026年に全株式を取得した軟包装の製造・販売事業を展開する子会社。
2017年以降に設立した海外子会社		**説明**
1	**OKIL-SATO X-Pack Co., Ltd.**（ロシア）	シュリンクスリーブ、インモールド、軟包装の製造・販売を行い、サトーが60%の株式を保有するプライマリー専業子会社。2017年設立。

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

【本資料ご利用にあたってのご注意事項】
・本資料に記載の内容は全て2026年8月現在の情報をもとに作成したものです。
・本資料に記載の内容は予告なく変更することがあります。
・本資料で使用される商標、ロゴ、商号に関する権利は、当社またはそれぞれの権利の所有者に帰属します。
・本資料の内容に関する一切の権利につきましては当社に帰属し、本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾なしに転載または複製することを固くお断り致します。

www.sato-global.com/ja/

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.